

No. 5



# COSMO SCIENCE I NEWS



石川県立金沢泉丘高等学校 SSH 推進室

第5回コスモサイエンス I 平成27年1月23日(金)

講義①:「がんのエネルギー代謝」

講 師: 金沢大学がん進展制御研究所

教授 源 利成 先生



講義②:「にょいの受容とノーベル賞」

講 師: 金沢医科大学

教授 三輪 高喜 先生



実 習: 救急処置 (クリニカルシミュレーションセンター)

場 所: 金沢医科大学

問 最新の医療技術を行うことは医学の進歩のために不可欠なことであるが、科学技術者としてあなたが身につけておかななくてはならない素養および必要であるところをまとめなさい。

私が心得ておくべきだと考える素養は異なる視点をも持つということである。何事に対しても「それは当たり前ではない」「ではなぜそうなのか」と固定観念を捨てて疑問を持つことが新たな発見へとつながると考える。

固定観念、と言っても普段自分の中にあると認識しにくい、場合によっては大きな壁となる。歴史で見ても、大勢の学者達が新しい学説を発表する度に、一つの考えに縛られた人々によって批判を浴びてきた。遺伝学者のメンデルもその一人だ。生前にその偉大な発見は認められず、証明されたのは随分あとだったという。科学におけるある進歩が遅れたということだ。この場合、メンデルに対してまわりの人々が固定観念にとらわれたわけだが、技術者、研究者自身もとらわれてはいけない。

現在、様々なことが証明され「当たり前」があふれているが、もう一つの視点から考え、自身に問いかけていけば小さな一歩につながるだろう。

(8番 藤尾)



私たちが科学技術者として世の中で活躍していくためには、技術や知識は欠かせない。だが、技術者は技術や知識だけではなく心の部分、つまり、倫理観も持ち合わせるべきではないだろうか。

現在の日本社会では、家電製品や交通機関、医療機器などにおける様々な科学技術が存在し、「便利」な生活が普及している。だが、人々はこの「便利さ」をさらに向上させようと新たな科学技術を求める。ここで考えるべきことは、この無限の「便利さ」の追求が社会にどのような影響を与えるかということである。福島第一原発問題は原子力、注射器による病気の感染は医療という科学技術によるものである。

他人が被害を受けるような科学技術は世に広めない。「便利さ」の中に生きる私たちには、技術よりも先に、一人個人として持つべき倫理観が問われているのではないだろうか。

(23番 鹿渡)

科学技術者ならば、探求心が必要である。なぜこのようになるのか、という謎から科学の発展につながることは今までに多々ある。

その中で、普段コスモサイエンスでやっている「質問」という行為は探求心そのものである。それは、今まで理解できていないことや知らないことが何なのかと考えることである。そして、それが先人によって解明・発明されていなければ、新たな研究のテーマと成り得る可能性が高いのだ。

探求心とは、そのものの本質を理解しようとし、その中で出てきた矛盾に興味をもつことだ。しかし、世の中に矛盾は起こらない。何かの原因から結果は発生する。このコスモサイエンスを通じて、素朴な疑問を持つこと、そしてその疑問を発生させるための幅広い知見を得て、科学者の一員として参加できるようになることが今からの目標である。

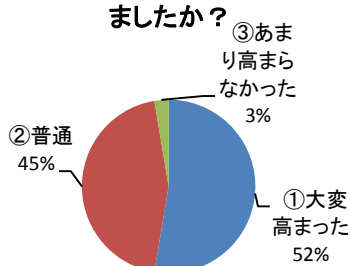
(36番 松井)



### Result of a questionnaire



科学に対する興味・関心が高まりましたか？



将来の参考になりましたか？

